

第 30 回熊本市公文書等管理委員会 議事録

1 日時 令和8年(2026 年)5月 27 日(月)10 時 00 分から

2 場所 熊本市役所本庁舎4階 モニター室

3 出席者(敬称略)

委員会委員 7名

上拂 耕生 (委員長／熊本県立大学総合管理学部 教授)

小粥 祐子 (崇城大学工学部 准教授)

坂口 眞理 (副委員長／特定非営利活動法人 熊本消費者協会 理事)

鈴木 桂樹 (熊本大学 名誉教授)

原村 憲司 (弁護士)

樋口 務 (特定非営利活動法人 くまもと災害ボランティア団体ネットワーク
代表理事)

渡邊 哲也 (株)熊本日日新聞社 論説委員)

4 会議内容

- (1) 令和8年度(2026年度)スケジュール(案)について
- (2) 重要な公文書等の整理に関する検討について(熊本地震関連文書)
- (3) 熊本市公文書管理条例第9条第5項に基づく廃棄文書に係る事前審査について

5 配布資料

・00_次第

・【資料1】令和8年度スケジュール(案)

・【資料 2】重要な公文書等の整理に関する検討(熊本地震関連文書)

・【参考資料 1】PT構成課一覧

・【参考資料 2】地震関連文書リスト入力表①

・【参考資料 3】地震関連文書リスト入力表②

・【資料3】令和8年度(2026 年度)条例第9条第5項に基づく廃棄文書に係る
事前審査について

6 開会

開会后、議事に入る前に新任委員及び既任委員の紹介並びに事務局職員の紹介を行った。続いて、副委員長の選出を行い、坂口委員が副委員長に選出された。

7 議事

議題(1) 令和8年度(2026年度)スケジュール(案)について

(委員長) それでは第 30 回熊本市公文書等管理委員会について議事を進行する。本日の議題は3つ準備されている。まずは(1)令和8年度(2026年度)スケジュール(案)について、事務局から説明をお願いします。

※事務局より(1)令和8年度(2026年度)スケジュール(案)について説明

(委員長) それでは、令和8年度(2026年度)スケジュール(案)について、ご質問・ご意見等があればお願いします。今年度は重要な公文書等の整理に関する検討(地震関連文書)が新たな議題として加わっており、次回以降は例年の廃棄文書審査と併せて内容が充実したものになると考える。(特に質問・意見等なし)

議題(2) 重要な公文書等の整理に関する検討について(熊本地震関連文書)

(委員長) 次に、次第(2)の重要な公文書等の整理に関する検討について(熊本地震関連文書)、事務局から説明をお願いします。

※事務局より重要な公文書等の整理に関する検討について(熊本地震関連文書)説明

(委員長) それでは、重要な公文書等の整理に関する検討について(熊本地震関連文書)、ご質問・ご意見等があればお願いします。

(委員) 資料1「令和8年度スケジュール(案)」では「重要な公文書等(地震・コ

ロナ・旧永年保存文書)」との表現がある一方、今回検討するガイドラインは地震関連文書を対象としている。各種資料を見た際に、このガイドラインが地震関連文書だけでなく、コロナや旧永年保存文書も含めた全てのガイドラインのように受け取ってしまう。誤解を避けるため、各種資料中の表記を統一した方がよい。

(委員長) 今回のガイドラインは地震関連文書を対象としているが、将来的にはコロナなどの他の重要な文書の基準とはなり得るものとする。

(委員) 文書ファイル名について、同一内容の文書が異なる会議等で別名称となっている場合があると思われるが、そのような重複確認の仕組みはあるのか。

(事務局) まずは各課が保有する地震関連文書を把握することを優先している。重複等については、今後の整理の過程で検討することになる。

(委員) 大量文書の保存対象外範囲の検討時期はいつ頃になるのか。また、委員会として意見を述べる機会はあるのか。

(事務局) プロジェクトチームで検討を進めた上で、本委員会にも報告し、ご意見をいただきながら最終的な判断を行う予定である。

(委員) ガイドラインにはどのような内容を盛り込む予定なのか。

(事務局) 原則として地震関連文書を永年保存の対象とする中で、保存対象外とする文書の範囲や基準を明確化する内容を想定している。

(委員長) 他自治体ではどのような取扱いが行われているのか。

(事務局) 仙台市や神戸市では、申請書類等の大量文書については一部をサンプル保存し、それ以外は廃棄できる取扱いとしている事例がある。

(委 員) 資料中の「何を残すか」という表現は、原則保存という考え方からすると誤解を招く可能性があるため、表現を工夫した方がよい。

(委 員) 保存対象外とする文書を決定する際には、本委員会が十分に確認し意見を述べる機会が確保されとの理解でよいか。

(事務局) そのとおりである。

(委員長) 必要に応じて現物確認も行うべきではないか。本委員会の重要な役割であり、必要な範囲で現物確認を行うことも検討していきたい。

(委 員) リストの入力の件で、一般文書の中に地震関連文書が含まれている場合があるとのことだが、熊本地震であれば、熊本地震とタイトルに入れるというようなルールがあるのか。基本はそういうルールだが、一部地震関連文書が紛れているという状況なのか、もしくは各課ばらつきがあり、文書が大量にありリストアップ作業が相当大変なものなのか、どのような状況か伺いたい。

(事務局) 具体的な割合は不明だが、文書ファイル名の中に“地震”や“被災”などの言葉が含まれる中に、一般文書が含まれている場合が多い。

(委 員) このような大きな地震等があった場合に、当時文書名の付け方に統一ルールはあったのか。課によるばらつきが大きい場合、漏れが生じる懸念がある。

(事務局) 文書ファイル名の付け方には事業名や制度名を使用している例が多く、課ごとにばらつきがある可能性はある。今回の整理作業を通じて把握を進めたい。

(委員長) 最も大変なものは学校関係だと思われる。避難所運営など。学校関

係文書については量も多く整理が難しいと思われるが、適切な把握をお願いしたい。

(委 員) 学校ごとに状況が異なることも考えられるが、対象期間が限定されていることから、整理を進めることが重要である。

議題(3) 熊本市公文書管理条例第9条第5項に基づく廃棄文書に係る事前審査について

(委員長) 次に、次第(3)の熊本市公文書管理条例第9条第5項に基づく廃棄文書に係る事前審査について、事務局から説明をお願いします。

※事務局より重要な公文書等の整理に関する検討について(熊本地震関連文書)説明

(委員長) それでは、熊本市公文書管理条例第9条第5項に基づく廃棄文書に係る事前審査について、ご質問・ご意見等があればお願いします。

(委 員) 事前審査期間が延長されることはありがたい。主担当・副担当それぞれの確認時期の目安を示してもらえると作業しやすい。

(事務局) 主担当分は8月上旬まで、副担当分は9月上旬頃までを目安として考えている。

(委 員) 今年度のファイル数は昨年度と同程度か。

(事務局) 大幅な増加は見込んでいない。

(委 員) 今回の廃棄文書リストには地震関連文書は含まれないという理解でよいか。

(事務局) 地震関連文書及びコロナ関連文書は除外したうえで審査いただく予定である。

(委員長) 仮に関連すると考えられる文書があれば、例年どおり指摘していただきたい。

(委員) 地震関連文書の保存対象外文書についての審査は、今年度の通常の廃棄文書審査とは別になるという理解でよいか。

(事務局) そのとおりである。

(委員長) 今年度も大変な作業になるが、ご協力をお願いしたい。

8 その他

※事務局より公文書館整備の進捗について報告

(委員長) ただいまの報告について、ご質問等はないか。

(特に質問・意見等なし)

(了)